

平成 30 年度 第 10 回 理事会 抄録

日 時 : 平成 31 年 3 月 3 日 (日) 9 : 30 ~ 11 : 30
場 所 : 田町カンファレンスルーム
出 席 : 理 事 : 半田、斉藤、森本
網本、伊藤、梶村、黒澤、白石、大工谷、高橋 (哲)、高橋 (仁)
田中、谷口、知脇、中川、中前、藤澤、松井、山根、吉井
監 事 : 太田、長澤、辺土名
欠席者 理 事 : 内山、植松
監 事 : なし

I. 審議事項

(全 5 題)

1. 2019 年度 事業計画ならびに予算案について	(半田会長)	承認
<p>2019 年度の事業計画ならびに予算案が業務執行理事等から提出され、審議の上承認された。 また、承認に際して、「資金調達及び設備投資の見込み」について文章を修正することを前提に承認された。</p> <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 学会が分散化したことによる効果検証を行う 1 年になるだろう。<input type="checkbox"/> 長期講習会の受講者リストを作成した場合、ほとんどが専門学校の教員にあたる。大学教育の推進を行っているので、本会としても早急に対応すべきだ。<input type="checkbox"/> 理学療法の海外展開にあたって、職域拡大を目標として展開することになる。<input type="checkbox"/> 副会長が受け持つ事業が多いのではないか。事業の整理が必要ではないか。<input type="checkbox"/> 急速に予算が拡大しているので、数年前の執行方法では困難になってきている。<input type="checkbox"/> 会費徴収手数料が年々増加しているの、値引き交渉をし、費用削減に努めていただきたい。<input type="checkbox"/> 理事会で何がハイライトか案内すべきではないか。重要な書類については、時間をかけて議論すべきである。<input type="checkbox"/> 「資金調達及び設備投資の見込み」については文章を修正しなければならない。		

2. 各種規程の改定案について	(森本副会長)	承認
<p>組織・規則等検証委員会にて検討を行った下記の規程について、改訂案が出され審議がなされた。</p> <p><事務局内組織の一部変更 (秘書広報課→秘書課、広報課、国際事業課) ></p> <ul style="list-style-type: none">・組織規則 (組織図含む)・分掌規程 <p><謝金支払基準の全面見直し (現行の運用に沿った支払に修正) ></p> <ul style="list-style-type: none">・謝金の支払い基準に関する規程 (別表含む)		

<p><会費減免・見舞金支給の適用範囲等を一部変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費減免・見舞金支給の規程 ・都道府県理学療法士会会費の取り扱いに関する準則 <p><文言の一部修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理綱領 <p>これらについて、以下の 3 点を修正することで承認された。</p> <p><修正点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織図の事務局内にあるグループ名称を削除する。 ・組織図において「日本理学療法士学会」を囲む破線を前面に表示する。 ・秘書課の分掌規程について、「常勤役員」から「常勤役員等」に変更する。

3. 政策参与の解任について	(半田会長)	継続審議
政策参与の解任について審議がなされ、本件は委嘱を解く「解職」が適切であり、法解釈を含め整理した上で再度審議することになった。		

4. 2019（平成 31）年度役員報酬額の決定について	(森本副会長)	承認
2019（平成 31）年度役員報酬額について審議がなされ、提案どおり承認された。		

5. 理学療法士養成校の卒業生に対する平成 30 年度学業優秀賞受賞者の承認について	(砥上 恵幸 表彰委員会委員長)	承認
平成 30 年度学業優秀賞受賞者について、対象養成校 249 校のうち 246 校（推薦辞退 3 校除く）、昼間部 246 名、夜間部 36 名、計 282 名の推薦があり、表彰規程に沿って表彰委員会で審査承認したことが報告された。これについて、提案通り承認された。		

6. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
----------------	--------------------------	----

平成 31 年 1 月 2 日～平成 31 年 2 月 15 日の間、新たに申請をした正会員 159 名の入会について承認された。また、復会者 16 名、休会者 1,720 名、退会者 629 名、賛助会員入会 1 社（2019 年 4 月 1 日入会）であったことが併せて報告された。

■ 賛助会員

豊和 ES 株式会社

事業内容：定電流治療器 AAP の販売

II. 報告事項

(全 9 題)

1. 新会館の建設について	(半田会長)
新会館の施工状況について、実施設計が完了したこと、また、既存建物の解体に着手したことについて報告された。	
2. 第 2 回アジア次世代ヤングリーダープログラム 参加者選定結果報告	(高橋常務理事)
2 回アジア次世代ヤングリーダープログラムが、平成 31 年 3 月 8 日～10 日にシンガポールで開催される予定である。 本会会員から募集したところ、12 名の申し込みがあり、審査員による評価の結果 5 名が選出されたことが報告された。	
3. WEB 広報誌「笑顔をあきらめない。」構築の入札実施について	(森本副会長)
WEB 広報誌構築について、2018 年 12 月 7 日より入札公示を行い、コンセプト・入札価格ともに一番条件が良かった富士オフィス&ライフサービスに依頼することを 1 月 22 日の入札会議にて決定したことが報告された。	
4. 常任理事会 会議報告 (1 月 12 日)	(森本専務理事)
常任理事会の開催に伴い、以下の通り結果が報告された。 ○第 10 回 常任理事会 協議事項： 1. 平成 31 年度職員人事案について 2. 2019 年度重点事業案について 3. 日本理学療法学生協会への助成について 4. 日本理学療法士教員協議会 2019 運営委託について 5. 大規模助成研究 外部有識者を含めた結果に基づく審査協議 6. 第 44 回年次学会および第 77 回台湾理学療法士協会学術集会への出席者について 7. アドバンシング理学療法 in ベトナムでの WCPT 事業への協力について 8. 2019 年度認定理学療法士 (新規・更新) の症例報告審査の 2 次審査について 9. 第 55 回日本理学療法学術研修大会の企画案について 結果：1～9 について協議された。 報告事項： 1. WCPT 総会、AWP 総会 2019 に関する情報共有 結果：1 について報告された。	

5. 常任理事会 会議報告 (2月2日)

(森本専務理事)

常任理事会の開催に伴い、以下の通り結果が報告された。

○第 11 回 常任理事会

協議事項：

1. 平成 31 年度職員人事案について
 2. 2019 年度の重点課題と 2025 年を見据えた本会が目指すべきビジョンについて
 3. 入会申請の一部変更について
 4. 女性理学療法士の会への業務委託について
 5. 予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成(成果報告会と審査結果)
 6. AWP 総会 2019 代表者出席にかかる財政支援への対応について
 7. 香港理学療法協会からの学会連絡
 8. 臨床実習指導者講習会の講師の修了要件およびプログラムの開催地裁量プログラムについて
- 結果：1～8 について協議された。

報告事項：

1. カナダ理学療法士協会からの連絡 (常勤 CEO 就任のお知らせ)
2. 本年度国際案件に係る役員対応予定について
3. モデル事業(山形県)自立支援型地域ケア会議マニュアルの活用について
4. 運動器の健康・日本協会 平成 30 年度 第 2 回学校保健委員会報告
5. 第 55 回日本理学療法学会学術研修大会の企画案について
6. 理学療法白書 2018 年度版の発行について
7. 学会版 MMT&ROM 評価指針の著作権に関する打合せ結果について
8. 東京 2020 五輪・パラリンピック競技大会, 本会推薦名簿完成の報告
9. スポーツ支援推進執行委員会 第 3 回ボッチャ選抜甲子園大会の報告書
10. 資金繰りについて

結果：1～10 について報告された。

6. 業務執行理事会 会議報告 (2月2日)

(森本専務理事)

業務執行理事会の開催に伴い、以下の通り結果が報告された。

○第 3 回 業務執行理事会

協議事項：

1. 平成 30 年度事業の活動計画について
- 結果：1 について協議された。

報告事項：

1. 2019 年度の事業計画・予算案について
- 結果：1 について報告された。

7. 諮問委員会からの答申書の提出について

(半田会長)

課題解決型高度医療人材検討委員会から答申書が提出されたことが報告された。

8. 「平成 30 年度 第 2 回 JIMTEF 災害医療委員会」報告

(梶村常務理事)

「平成 30 年度 第 2 回 JIMTEF 災害医療委員会」について報告がなされた。

9. 日本リウマチ財団 登録理学療法士・作業療法士制度の創設について

(半田会長)

日本リウマチ財団 登録理学療法士・作業療法士制度の創設について、先方より制度を平成 31 年 4 月にスタートすると報告を受けたことが情報共有された。

以上